



株式会社 UKCホールディングス 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス

コード番号 3156 URL http://www.ukcgroup.com/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部門、財務部、
総務人事部門担当 (氏名) 田口 雅章 TEL 03 (3491) 6575

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	245,349	13.4	5,432	△8.9	5,847	△1.3	3,532	1.2
25年3月期第3四半期	216,356	12.0	5,959	62.1	5,922	83.1	3,491	103.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,961百万円 (28.2%) 25年3月期第3四半期 3,870百万円 (487.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	225.00	—
25年3月期第3四半期	222.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	124,713	49,411	39.4	3,126.21
25年3月期	114,223	45,402	39.4	2,869.23

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 49,076百万円 25年3月期 45,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	20.00	—		
26年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	1.9	7,400	0.5	7,000	△14.2	4,500	△10.5	286.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	15,700,021株	25年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,790株	25年3月期	1,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	15,698,372株	25年3月期3Q	15,699,206株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日本経済の再生に向けた各種政策の効果等により、企業収益、設備投資、雇用情勢、個人消費等に改善が見えました。しかし、中国を中心とした新興国における経済成長の鈍化や長引くEU地域の債務問題等が、引き続き景気の下振れリスクとなっています。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の市場が好調を持続する一方、従来型の携帯電話機やパソコン、デジタルカメラ等の市場は低調なトレンドが続くなど、二極化の傾向が見られます。また、好調なスマートフォン市場におきましても、中国メーカーがシェアを伸ばすなど、流動的な状態が続いています。

このような状況の下、当社グループにおきましては、中核事業であるソニー製の半導体・電子部品事業をさらに強化するとともに、EMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大や新規事業の創出に注力してまいりました。事業本体は海外事業を中心に順調に推移しておりますが、海外連結子会社において第2四半期連結会計期間に計上した貸倒引当金 11 億 27 百万円（10.6 百万米ドル）の影響により、販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。同売掛債権につきましては、回収に向けて相手先及びその代表者に対する訴訟の提起等の措置を講じております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 2,453 億 49 百万円（前年同期比 13.4%増）、営業利益は 54 億 32 百万円（前年同期比 8.9%減）、経常利益は 58 億 47 百万円（前年同期比 1.3%減）、四半期純利益は 35 億 32 百万円（前年同期比 1.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しております。

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、主に海外スマートフォン向けのイメージセンサーの販売や自社工場におけるEMS事業が好調であったことにより、売上、売上総利益ともに伸長いたしました。しかし、第2四半期連結会計期間に計上しました貸倒引当金 11 億 27 百万円（10.6 百万米ドル）の影響により販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は 2,327 億 93 百万円（前年同期比 13.3%増）、セグメント利益は 54 億 88 百万円（前年同期比 9.1%減）となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、景気刺激策の効果等により、顧客の設備投資の改善傾向が続いており、一般企業向け、監視カメラ顧客、教育機関、医療向けを中心に売上が伸長いたしました。販売費及び一般管理費は増加したものの、この増収効果により、セグメント損失は改善いたしました。

以上の結果、売上高は 114 億 43 百万円（前年同期比 16.7%増）、セグメント損失は 45 百万円（前年同期は 1 億 74 百万円の損失）となりました。

・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスの活性化に伴い、売上、利益ともに伸長いたしました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、試験数の減少に伴い、業績は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は 18 億 58 百万円（前年同期比 15.8%増）、セグメント利益は相対的に高利益率である試験・分析サービス事業の減収の影響により、1 億 31 百万円（前年同期比 19.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して 104 億 89 百万円増加し、1,247 億 13 百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加 133 億 51 百万円、商品及び製品の減少 22 億 75 百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して 64 億 80 百万円増加し、753 億 2 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加 60 億 56 百万円、短期借入金の減少 6 億 59 百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少 22 億 93 百万円、未払法人税等の減少 6 億 99 百万円、長期借入金の増加 26 億 29 百万円、その他の流動負債の増加 16 億 93 百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して 40 億 9 百万円増加し、494 億 11 百万円となりました。これは主に四半期純利益 35 億 32 百万円、利益剰余金からの配当 9 億 41 百万円、為替換算調整勘定の増加 14 億 24 百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額 14 億 43 百万円、少数株主持分の減少 23 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、海外連結子会社における売掛金回収の見通し、製品市場や顧客の動向等、不確定・不透明な要素が多いことから、平成25年5月10日公表の予想値を据え置いております。今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,601	12,845
受取手形及び売掛金	65,119	78,471
商品及び製品	23,304	21,029
仕掛品	297	748
原材料及び貯蔵品	489	887
その他	6,680	3,964
貸倒引当金	△144	△69
流動資産合計	108,349	117,877
固定資産		
有形固定資産	2,076	2,387
無形固定資産	461	471
投資その他の資産		
投資有価証券	2,427	3,037
その他	984	2,136
貸倒引当金	△76	△1,196
投資その他の資産合計	3,336	3,977
固定資産合計	5,874	6,836
資産合計	114,223	124,713
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,371	41,428
短期借入金	20,937	20,277
1年内返済予定の長期借入金	4,295	2,002
未払法人税等	2,056	1,357
賞与引当金	420	224
その他	1,932	3,626
流動負債合計	65,014	68,915
固定負債		
長期借入金	2,610	5,240
退職給付引当金	627	627
役員退職慰労引当金	37	39
その他	531	479
固定負債合計	3,806	6,386
負債合計	68,821	75,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	34,361	36,951
自己株式	△1	△2
株主資本合計	45,085	47,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363	382
為替換算調整勘定	△406	1,018
その他の包括利益累計額合計	△42	1,400
少数株主持分	359	335
純資産合計	45,402	49,411
負債純資産合計	114,223	124,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	216,356	245,349
売上原価	202,576	230,481
売上総利益	13,779	14,867
販売費及び一般管理費	7,819	9,435
営業利益	5,959	5,432
営業外収益		
受取利息	22	38
受取配当金	25	33
仕入割引	4	5
受取手数料	6	—
為替差益	40	445
その他	172	159
営業外収益合計	272	682
営業外費用		
支払利息	229	209
売上債権売却損	33	9
その他	46	48
営業外費用合計	309	267
経常利益	5,922	5,847
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	0	—
その他	—	0
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産処分損	6	5
会員権評価損	—	17
投資有価証券評価損	19	—
退職特別加算金	497	—
その他	8	0
特別損失合計	532	22
税金等調整前四半期純利益	5,392	5,828
法人税等	1,950	2,310
少数株主損益調整前四半期純利益	3,441	3,518
少数株主損失(△)	△49	△13
四半期純利益	3,491	3,532

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,441	3,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	18
為替換算調整勘定	380	1,424
その他の包括利益合計	428	1,443
四半期包括利益	3,870	4,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,920	4,975
少数株主に係る四半期包括利益	△49	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体及び電 子部品	電子機器	システム機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	205,525	9,226	1,605	216,356	—	216,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	582	—	595	△595	—
計	205,537	9,808	1,605	216,951	△595	216,356
セグメント利益又は損 失(△)	6,038	△174	162	6,026	△66	5,959

(注) 1. セグメント利益の調整額△66百万円には、セグメント間消去取引14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△80百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体及び電 子部品	電子機器	システム機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	232,787	10,703	1,858	245,349	—	245,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	740	—	746	△746	—
計	232,793	11,443	1,858	246,095	△746	245,349
セグメント利益又は損 失(△)	5,488	△45	131	5,573	△141	5,432

(注) 1. セグメント利益の調整額△141百万円には、セグメント間消去取引△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△139百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループにおける販売体制の再編等により、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管しております。また、前連結会計年度まで、報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を、配賦不能費用として全社費用に含めておりましたが、セグメント別の損益をより明確に表示するために、第1四半期連結会計期間より、各セグメントへ配賦することに変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメント区分及び配賦基準に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。